

■ 公立保育所・幼稚園の統廃合の進捗状況

- ・野方保育園 → R4年度末 閉園
- ・松倉保育園 → R6年度秋 R5年度休園→閉園予定
- ・片貝保育園 → R6年度末 閉園予定(※10人)
- ・大町幼稚園 → R6年度末 閉園予定(※6人)
- ・道下保育園、青島保育園、経田保育園
→当面維持だが、老朽化のため統合、建替等も検討する。

※R6.4.1時点での園児数

■ 経過、課題等

○園児数の減少等が進んでいた片貝保育園、大町幼稚園について、望ましい集団生活を実践できる保育環境の整備などの観点から、R6年度当初の園児数が10人以下となったため、R6年度末で閉園とする。

○休園中の松倉保育園については、松倉地区で閉園を了承されたためR6年秋で閉園とする。

○大町幼稚園閉園に伴い、公立での1号認定の受け皿が無くなる。

○道下保育園、青島保育園については、老朽化が目立つ。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
道下保	1	11	14	13	15	10	64
青島保	3	16	20	20	15	16	90
経田保	0	4	7	8	5	13	37
片貝保	1	1	1	4	3	0	10
大町幼	—	—	—	0	3	3	6

R6.4.1現在

施設名	建築年度	構造/階層	延床面積
道下保育園	S56	RC/2	896.86㎡
青島保育園	S56	RC/2	1,066.20㎡
経田保育園	H3	RC/1	718.80㎡
片貝保育園	H13	RC/1	331.20㎡
大町幼稚園	S51	RC/2	620㎡

今後の方針

- 公立(保育所等)は、「子育て支援の中核的機能」「民間保育施設に対する相談・支援機能」「定員調整機能」「多様なニーズへの対応」等の役割があることや、保育士の雇用維持の観点からも、今後も継続して維持していく必要がある。
- 公立3園は、老朽化が進んでいるため、統合も視野に入れながら、計画期間内での園舎建替の検討を進める。
- 保育士集約化により、子どもたちの保育環境の向上を目指し、質の高い保育を提供する。併せて、新配置基準への対応を図る。
- 大町幼稚園が閉園予定となり、公立での1号認定の受け皿がなくなることから、公立保育所の認定こども園化の検討を進める。